

諮 問 書

札幌企第 1008 号

平成 27 年（2015 年）12 月 15 日

札幌市廃棄物減量等推進審議会

会 長 福 士 明 様

札幌市長 秋元 克広



次期札幌市一般廃棄物処理基本計画の方向性について（諮問）

本市は、平成 20 年 3 月に策定した一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、家庭ごみの有料化や「雑がみ」「枝・葉・草」の分別収集を始めとする様々な施策を実施し、市民の協力によって、大幅にごみの減量・資源化が進み、清掃工場 1 か所の廃止や埋立地の延命化をすることができました。

平成 26 年 3 月には、更なるごみの減量・資源化に向け、同計画を一部改定し、紙類・容器包装プラスチックの適正排出や生ごみの減量・資源化の促進について重点的に取り組んでいるところです。

この間、国において、「第三次循環型社会形成推進基本計画」が策定され、循環の質にも着目した 2 R（リデュース・リユース）の取組をより一層進めていくこととしています。

また、人口減少を目前に控え、高齢化が進行する中、本市が策定した新たなまちづくりの指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」においても、「循環型社会の構築」を掲げており、市民・企業・行政の連携がより一層重要なものとなります。

こうした転換期においては、市民の意識や生活スタイルなども変化し、多様化する市民ニーズに的確に対応した施策を検討する必要があることから、本市や国の状況、社会情勢等を踏まえ、次期基本計画の方向性について、御意見、御議論いただきたく、ここに諮問いたします。